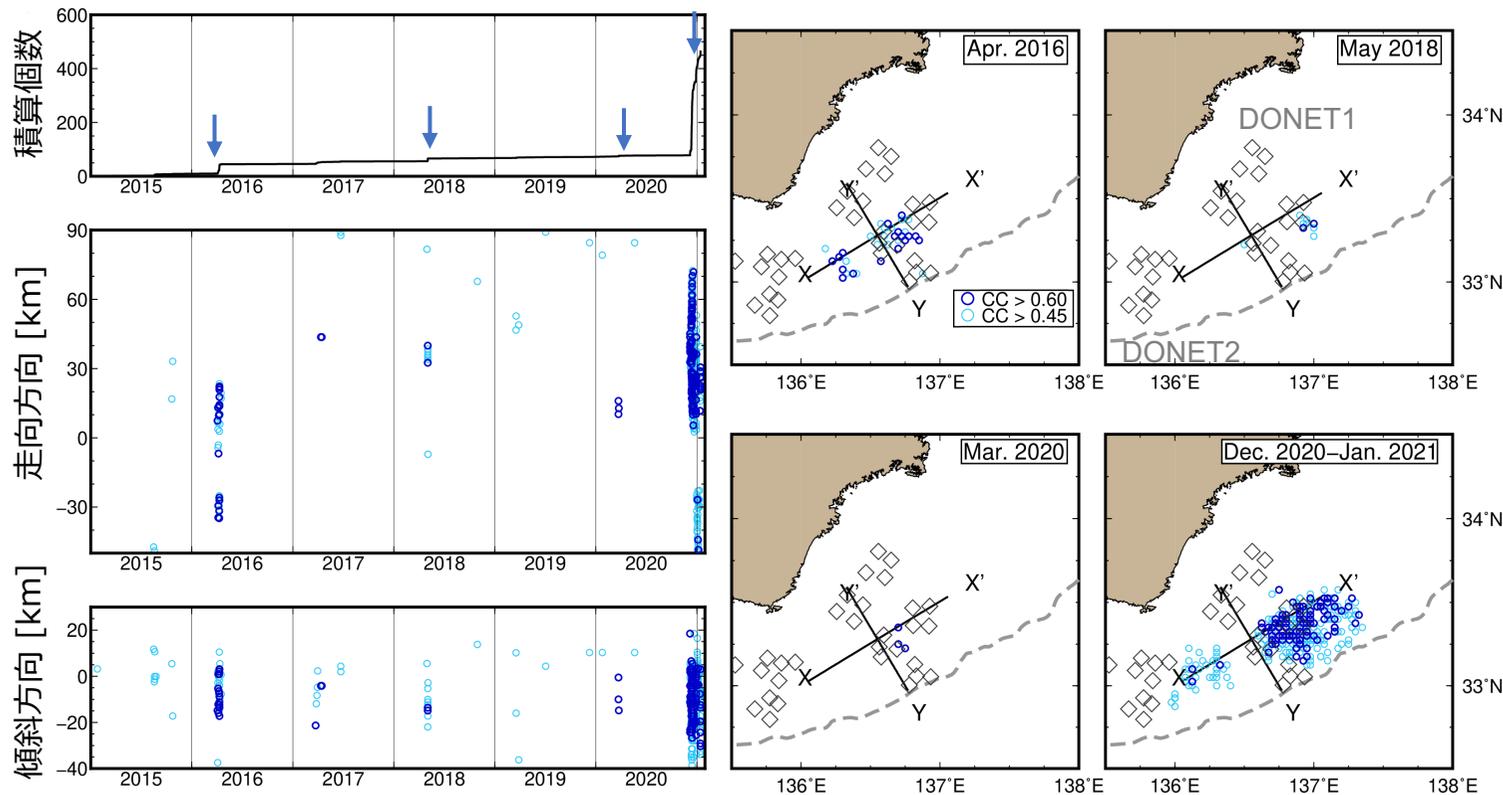
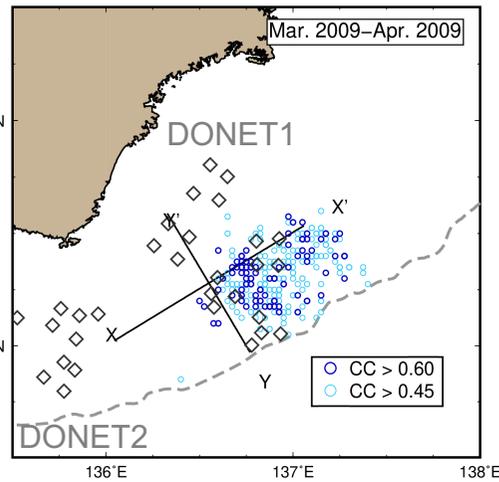
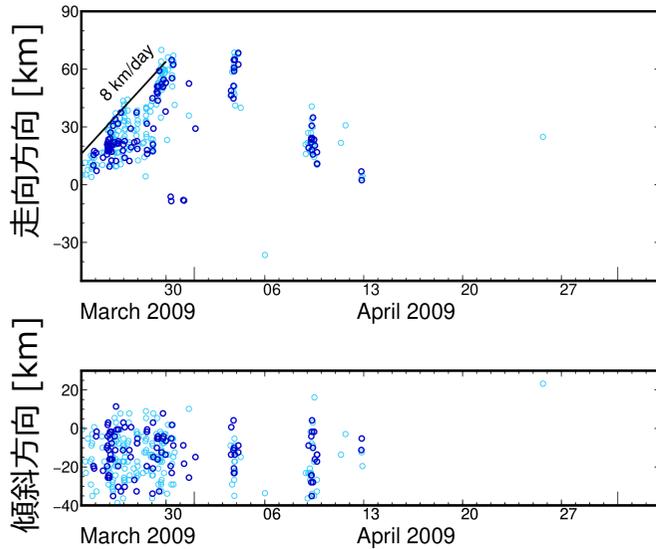


2020年12月～2021年1月に紀伊半島南東沖で発生した浅部超低周波地震活動

- 広帯域地震観測網F-netの連続記録を利用した相互相関解析により紀伊半島南東沖で発生する浅部超低周波地震の検知・震央再推定を行った。気象庁カタログにより通常地震を排除した。
- 2020年12月6日に東経137.0°付近で開始後、東西へ約4 km/dayで拡大し、潮岬の南南東沖まで至り、2021年1月14日まで活動が継続した（詳細は2枚目）。



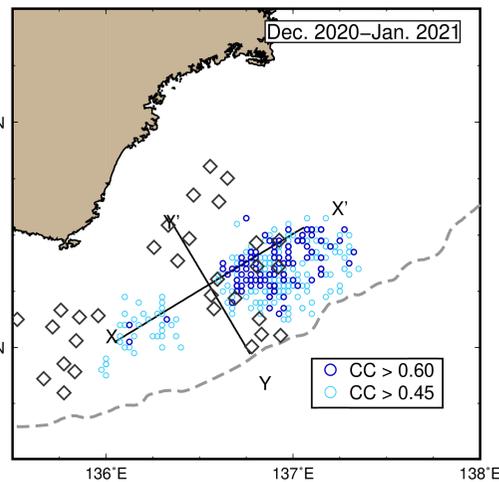
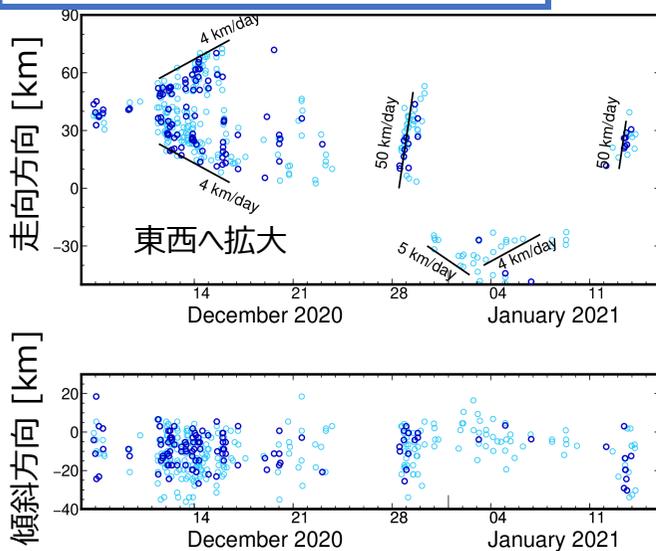
2009年3月～2009年4月



2009年3~4月に同地域で発生した浅部超低周波地震活動 (Takemura, Noda et al., 2019) と比較
走向方向震源移動性 (左図)

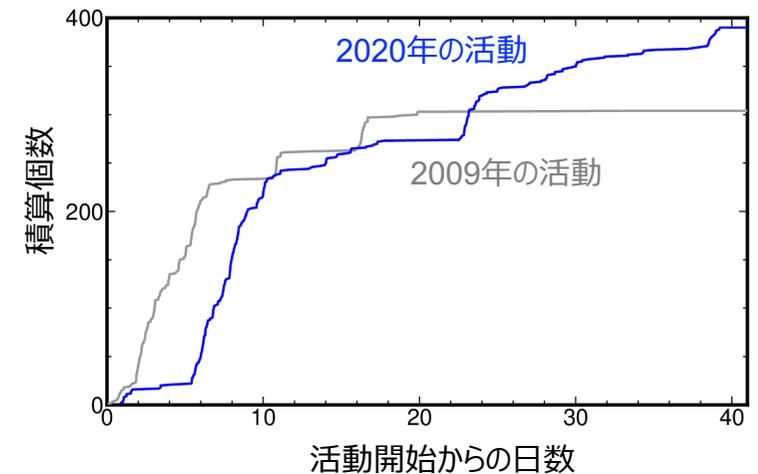
- 2009年3月に開始した活動では東経136.7°付近で開始し、約8 km/dayで東へ移動。
- 2020年12月に開始した活動では東経137.0°付近で開始し、約4 km/dayで東西へ拡大。

2020年12月～2021年1月

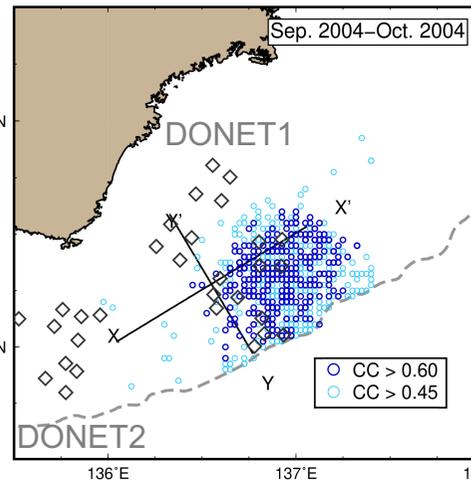
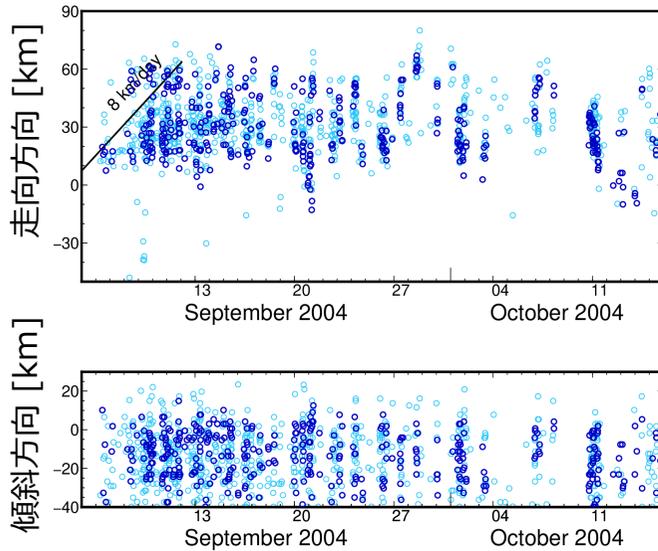


積算個数の時間変化 (下図)

- 積算個数の時間変化は2009年の活動 (下図灰色線) と似た傾向を持つ。



2004年9月～2004年10月



2004年9～10月に同地域で発生した浅部超低周波地震活動 (Takemura, Noda et al., 2019)

走向方向震源移動性 (左図)

- 2004年9月に開始したの活動では2009年3月と同様に東経136.7°付近で開始し、約8 km/dayで東へ移動。

積算個数の時間変化 (下図)

- 活動数・活動期間ともに2004年の方が大きいものの、活動初期の積算個数の増加率は同程度。

2020年12月～2021年1月

